

第4回洛西NTアクションプログラム推進会議を開催しました！

2月2日（金）に、第4回の洛西NTアクションプログラム推進会議を開催しました。

アクションプログラムの平成29年度末までの取組として、プログラム全83取組項目のうち、取組に着手しているものは8割となっており、計画初年度において十分な取組状況であることが報告されました。

また、平成30年度以降の取組の見通しとして、洛西竹林公園子どもの広場の整備イメージ、観光分野・情報発信の今後の取組イメージ、サブセンターの活性化イメージについて議論が行われました。



推進会議での主な意見

- ・タウンセンターについて、地域の事業者等が連携し、活性化に取り組みたい。
- ・小中学校と高等教育機関が連携した教育に取り組んでいきたい。
- ・高齢者や障害者に対する情報発信は、受け取る側の視点から、情報をうまく整理していく必要がある。

サブセンター・会館の有効活用の取組を進めています！

●境谷サブセンターにおける コンビニエンスストア等の誘致の推進

境谷サブセンターの駐車場の一部を利用して、コンビニエンスストア等の誘致を進めています。現在事業者の公募を行っており、平成30年12月頃のオープンを目指しています。



●福西会館における「気軽に運動できる場」 の試行実施

サブセンター・会館利用の住民アンケート調査で、「気軽に運動ができる場」に対するニーズが高かったことから、2月からフィットネスクラブの協力を得て、福西会館において試行実施を行っています。



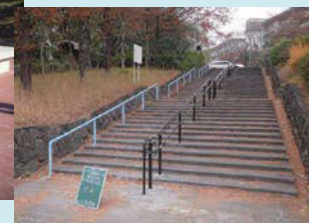
洛西ニュータウン内公園整備(工事・樹木管理)を実施しました！

洛西ニュータウン内の公園の魅力向上を図るため、地域の皆さんと情報共有しながら、小畑川中央公園のベンチ・テーブルの更新、大蛇ヶ池公園の手すりの増設、北緑地のフェンスの更新、小畑川中央公園等の樹木管理を行いました。

来年度も継続して、整備に取り組んでいきます。



新しくなった小畑川
中央公園のベンチ



増設された
大蛇ヶ池公園の手すり

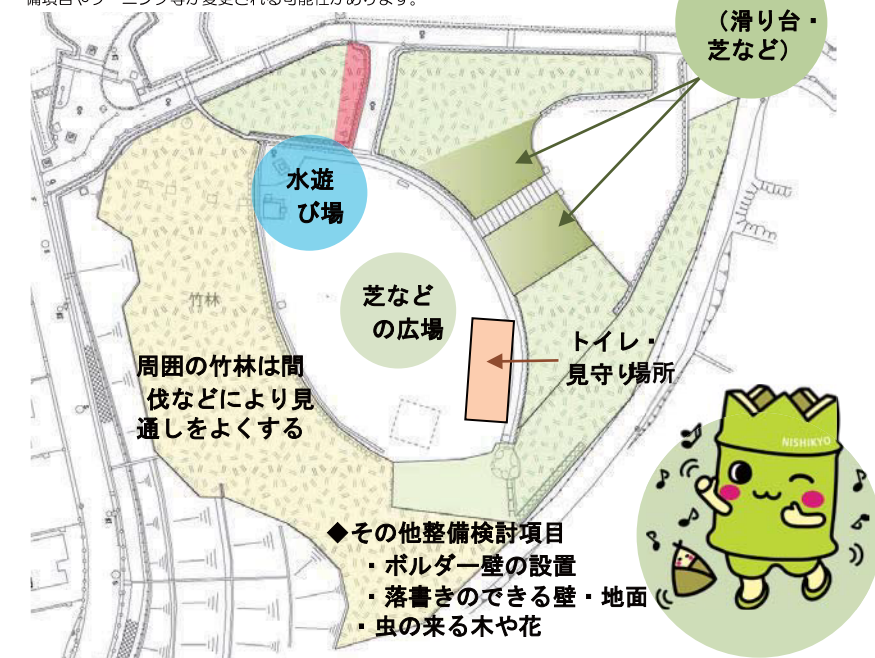
竹林公園子どもの広場の整備素案づくり

魅力ある竹林公園にさらにたくさんの方に来てもらえるよう、公園内の「子どもの広場」をより安心して楽しく遊べる場所にするため、再整備に向けた素案を作成しています。

利用者である洛西ニュータウン内外の子ども達や保護者の皆さんに、子どもの広場の魅力を見つけてもらうために、ワークショップを行いました（全3回）。ワークショップ等でいただいたたくさんのご意見を踏まえ、今年度中に整備素案をまとめます。

竹林公園子どもの広場再整備検討図(2月時点)

注：この図面は竹林公園子どもの広場ワークショップ等を元に事務局で検討している整備素案の現時点でのたたき台であり、今後、法規や安全性確保等の関係で、整備項目やゾーニング等が変更される可能性があります。



木のぬくもりが育てる「洛西子どもはぐくみプロジェクト」 子育て支援スペースが支所1階ロビーにオープン！

3月3日（土）、京都市内産の木材を使った子育て支援スペースが、洛西支所1階ロビーにオープンしました。

支所の開所時間中は自由に使っていただけますので、乳幼児を子育て中の皆様は是非ご利用ください！また、今後、地域の団体等と連携して、定期的にイベントを開催していく予定です。

※スペースのレイアウトについては、平成29年10月と11月にワークショップを開催し、支所管内の各関係団体から広く意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。



託児サービス(によっきき！)実施を通じて様々な交流を推進しています。

ラクセーヌでは、ママたちの買い物サポート「託児サービス(によっきき！)」実施を通じて、「ママたちのコミュニティづくり(想いが言える場)」「社会参加の機会づくり」「多世代交流の環境づくり」を進めています。

これまで毎週木曜日に実施していましたが、新たに毎月19日(育児の日)にも託児サービスを実施しており、その日は利用者がリラックスできるカフェコーナーを設置しています。

みなさまご利用ください！



洛西ママパパのまちとのつながり支援チーム(まちつなチーム)立上準備会 チラシづくり講座～第2弾～を開催しました！

「子育て中のママ・パパが持つスキルを社会とつなげる仕組みづくり」の取組として生まれた「まちつなチーム」による第2弾となる講座「プロから学ぶ！想いがつたわるチラシづくり講座」が2月13日(火)に開催されました。

講座では、キャッチフレーズの付け方やレイアウトの考え方を学ぶと共に、洛西支所ロビーで工事が進む「木のぬくもりが育てる『洛西子どもはぐくみプロジェクト』」を題材として、実際のチラシづくりや案内表示を参加した皆さんで考えてみました。

まちつなチームでは、このような取組を通じて、まちの団体や施設が抱えている「困っている点」「手伝ってほしいこと」と人材のマッチングを進めたいと考えています！



ママ・パパが
持っている
スキル・時間

まちつな
チーム

まちの中
にあるニーズ
困っていること
手伝ってほしい
こと

高齢者や障害者の地域での生活を支える情報発信 ～わくわくサロンの活動、わくわく通信の発行～

特定非営利活動法人洛西福祉ネットワークでは、運営されている「わくわくサロン」で、認知症・障害者への理解を深めるための情報発信や気軽に立ち寄れる居場所となるカフェを開かれています。

また、障害者の暮らしに役立つ情報を掲載した「わくわく通信」を発行され、これまでに放課後等デイサービスを提供する障がい児通所支援施設や全国的にも数少ない視覚障害に特化した障害者支援施設等について紹介されています。

今後とも、高齢者や障害者の地域での生活を支える情報発信が期待されています。

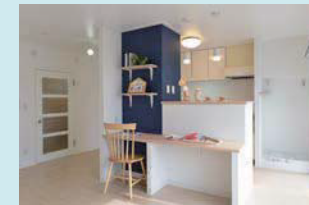


団地における住宅のリノベーションを進めています！

リノベーションとは
・リフォームと比べて大規模な間取りの変更
などを行い、性能の向上等を図ることを指
します。

市営住宅において、子育てしやすい間取りや設備等にリノベーション工事を行い、子育て世帯向けの住戸の供給を行っています。

また、UR賃貸住宅においても、京都女子大学とのコラボレーションにより、若者ならではの新しい発想や女性らしい視点を取り入れたリノベーション住戸の供給も行っています。



「こころ つながる暮らし」
URのリノベーション住戸(洛西新林団地)



「ゆとりと暮らす家」
URのリノベーション住戸(洛西新林団地)



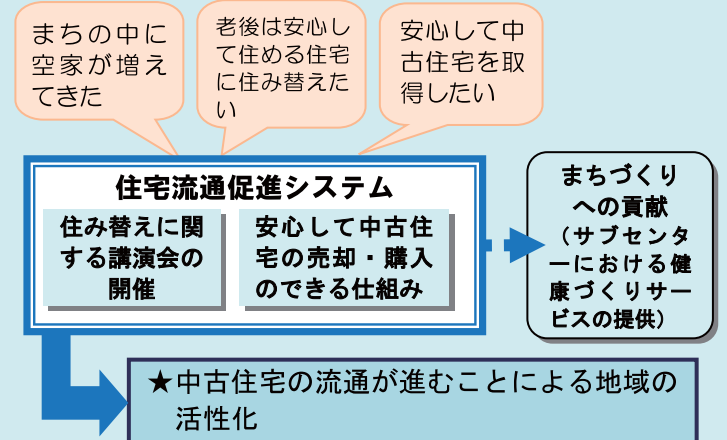
市営住宅子育て向けリノベーション住宅のイメージ例



洛西ニュータウン住宅流通促進システムを検討しています！

住宅・拠点関係ワーキングにおいては、洛西ニュータウンにおいて、中古住宅の流通が促進される仕組みとして、住み替えに関する講演会の開催とともに、中古住宅を安心して購入できる仕組みとして近畿不動産活性協議会による「住宅ファイル制度」や移住・住みかえ支援機構による「マイホーム借り上げ制度」、建物状況調査(インスペクション)の実施などをワンストップで提供できる仕組みを検討しています。

また、そこで得られる手数料の一部をサブセンターにおける健康づくりサービスの提供に役立てられる仕組みも検討しています。



洛西ニュータウン地域外への情報発信

ニュータウンや周辺の大枝・大原野地域には豊かな自然や歴史に恵まれ、魅力的な資源がたくさんあります。様々な分野の魅力を柱ごとに整理し、それぞれの戦略を考えていくことで、洛西のブランディング化を図っていき、将来的には移住促進につながる情報発信に取り組む必要があります。

〈情報発信の柱・戦略の例〉

柱	誘客 (主に観光面)	魅力周知 (主に生活面)	(将来的に) 移住促進
ターゲット	全ての世代 (外国人は要検討)	全ての世代 (特に20～40代)	20代後半～ 40代前半
ゴール	観光客の増	個々の魅力の 認知向上	移住者の増
ブランディング化			移住促進



発行：洛西NTアクションプログラム推進会議

事務局・問合せ先：京都市都市計画局都市企画部都市総務課 担当 菱田、藤田、片山

電話 075-222-3610, FAX 075-222-3689, メール toshisomu@city.kyoto.lg.jp

アクションプログラムの検討状況は、まちづくり通信や京都市のホームページでも公開していきます。

URL: <http://www.city.kyoto.lg.jp/menu4/category/55-12-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

記載内容に関するお問合せやまちづくりに対するご意見等ございましたら、事務局までお願いします。